

者ニ於テ其ノ旨ヲ病院若ハ診療所又ハ薬局ノ所在地ヲ管轄スル地方長官ニ届出ヅベシ

第十條 地方長官ハ保險醫又ハ保險藥劑師ノ指定ノ取消ヲ爲シタルトキハ第四條第一號及第三號ニ掲グル事項(第五條第一項ノ規定ニ依リ包括シテ指定シタル場合ニ在リテハ第三號ニ掲グル事項)竝ニ取消ノ年月日ヲ告示スベシ

附則

本令ハ昭和十八年四月一日ヨリ之ヲ施行ス
但シ第二條及第三條ノ規定ハ本令公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ従前ノ規定ニ依リ地方長官ノ指定ヲ受ケ居ル醫師、齒科醫師又ハ藥劑師ノ指定ニ關シテハ第四條ノ規定ニ拘ラズ一括シテ告示スルコトヲ得

勞働者災害扶助法施行令中改正の件

公布

勞働者災害扶助法施行令中改正の件は昭和十八年二月十三日付官報を以て左の通り公布せられた。

勞働者災害扶助法施行令中改正ノ件

(昭和十八年二月十二日勅令第六十六號)

第十五條第一項第一號中「五十五錢」ヲ「一圓」ニ、「八十錢」ヲ「一圓四十錢」ニ、「一圓三十錢」ヲ「二圓」ニ改ム

附則

本令ハ昭和十八年三月一日ヨリ之ヲ施行ス
本令施行前支給事由ヲ生ジタル扶助ニ付テハ仍従前ノ規定ニ依ル

(參照)

昭和六年八月廿二日勅令第二百七十六號勞働者災害扶助法施行令抄録

第十五條第一項

標準賃金ハ左ノ各號ノ金額トス

一 勞働者災害扶助法第一條第一項第二號

(ロ)ノ注文ニ依ル工事又ハ同號(ハ)ノ工事ニ使用セラルル者ニ付テハ一日ニ付十六歳未満ノ者

ハ五十五錢、十六歳以上ノ女子ハ八十錢、其ノ

他ノ者ハ一圓三十錢

農業團體法の公布

第八十一議會の協賛を経たる農業團體法は人口政策的見地からも關心せらるゝところ多いが、同法は昭和十八年三月十一日付官報を以て左の如く公布せられた。

農業團體法 (昭和十八年三月十日法律第四十六號)

第一章 總則

第一條 農業團體ハ市町村農業會、道府縣農業會、全國農業經濟會及中央農業會トス

第二條 農業團體ハ法人トス

第三條 農業團體ハ行政官廳之ヲ監督ス

第四條 農業團體ハ農業ニ關スル事項ニ付行政廳ニ建議スルコトヲ得

農業團體ハ行政廳ノ諮問ニ對シ答申スベシ

第五條 行政官廳ハ農業團體ニ對シ農業ニ關スル報告書ノ提出及農業ニ關スル事項ノ調査ヲ命ズルコトヲ得

第六條 農業團體ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ登記ヲ爲スコトヲ要ス

前項ノ規定ニ依リ登記スベキ事項ハ登記ノ後ニ非ザレバ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ズ

第七條 本法ニ規定スルモノノ外農業團體ノ設立、管理、解散、清算其ノ他農業團體ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第八條 本法ニ於テ農業トハ耕作、養畜(馬ニ關スルモノヲ除ク)又ハ養蠶ノ業務及之ニ附隨スル業務ヲ謂フ

第九條 樺太ニ於テ本法ヲ適用スルニ付必要ナル事項ニ關シテハ勅令ヲ以テ特例ヲ設クルコトヲ得

第二章 市町村農業會及道府縣農業會

第十條 市町村農業會及道府縣農業會(以下地方農業會ト稱ス)ハ農業ニ關スル國策ニ即應シ農業ノ整備發達ヲ圖リ且會員ノ農業及經濟ノ發達ニ必要ナル事業ヲ行フコトヲ目的トス

第十一條 地方農業會ハ其ノ目的ヲ達スル爲メ左ノ事業ヲ行フ

一 農業ノ指導獎勵其ノ他農業ノ發達ニ關スル施設

二 農業ノ統制ニ關スル施設

三 會員ノ販賣スル物ノ賣却又ハ其ノ加工ニ關スル施設

四 會員ニ必要ナル農業用物資ノ購買又ハ其ノ加工若ハ生産ニ關スル施設

五 會員ニ必要ナル農業資金ノ貸付又ハ農業用設備ノ利用ニ關スル施設

六 會員ノ貯金ノ受入ニ關スル施設

地方農業會ハ其ノ目的ヲ達スル爲メ前項ノ事業ノ外左

ノ事業ヲ行フコトヲ得

一 會員ニ必要ナル物ノ購買又ハ其ノ加工若ハ生産ニ關スル施設

二 會員ニ必要ナル資金ノ貸付又ハ設備ノ利用ニ關スル施設

三 農業ニ關スル調査及研究

四 農業ニ従事スル者ノ福利増進ニ關スル施設

五 前項又ハ前各號ノ事業ニ附帶スル事業

地方農業會前項第四號又ハ第五號ノ事業ヲ行ハントスルトキハ行政官廳ノ認可ヲ受ケベシ

地方農業會ノ施設ハ命令ノ定ムル所ニ依リ會員以外ノ者ヲシテ之ヲ利用セシムルコトヲ得

道府縣農業會ハ命令ヲ以テ定ムル金融機關ニ對シ會員ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲シ又ハ當該金融機關ノ委任ヲ受ケ其ノ債權ノ取立ヲ爲スコトヲ得

道府縣農業會ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會員ニ對シ手形ノ割引ヲ爲スコトヲ得

第十二條 地方農業會ノ地區ハ市町村農業會ニ在リテハ市町村(町村ニ準ズベキモノヲ含ム以下同ジ)、道府縣農業會ニ在リテハ道府縣ノ區域ニ依リ特別ノ事由アルトキハ市町村農業會ノ地區ハ市町村ノ區域ニ依ラザルコトヲ得

第十三條 地方農業會ハ其ノ名稱中ニ市、町若ハ村農業會又ハ道、府若ハ縣農業會ナル文字ヲ用フベシ但シ前條第二項ノ場合ニ於テハ市町村農業會ハ其ノ名稱中ニ市、町又ハ村ナル文字ヲ用ヒザルコトヲ得地方農業會ニ非ザルモノハ其ノ名稱中ニ前項ニ掲グル文字ヲ用フルコトヲ得ス

第十四條 市町村農業會ハ左ニ掲グル者ヲ以テ其ノ會員トス但シ國、公共團體及勅令ヲ以テ定ムル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

一 其ノ地區内ニ於テ農業ヲ營ム者

二 其ノ地區内ノ耕地、牧野又ハ原野ヲ所有スル者

三 前二號ノ者ニ準ズル者ニシテ勅令ヲ以テ定ムルモノ

道府縣農業會ハ其ノ地區内ノ市町村農業會ヲ以テ其ノ會員トス

第十五條 左ニ掲グル者ハ市町村農業會ノ會員ト爲ルコトヲ得但シ其ノ者ガ法人ナルトキハ命令ヲ以テ定ムル法人ニシテ行政官廳ノ認可ヲ受ケタルモノニ限ル

一 其ノ地區内ニ住所ヲ有スル者ニシテ農業ニ密接ナル關係ヲ有スルモノ

二 其ノ他命令ヲ以テ定ムル者

道府縣農業會ノ地區内ニ住所ヲ有スル法人ニシテ命令ヲ以テ定ムルモノハ行政官廳ノ認可ヲ受ケ當該道府縣農業會ノ會員ト爲ルコトヲ得

第十六條 地方農業會ヲ設立セントスルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ第十四條ノ規定ニ依リ會員タル資格ヲ有スル者ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得テ創立總會ヲ開キ會則其ノ他設立ニ必要ナル事項ヲ定メ行政官廳ノ認可ヲ受ケベシ

第十七條 地方農業會ハ主タル事務所ノ所在地ニ於テ設立ノ登記ヲ爲スニ因リテ成立ス

第十八條 地方農業會成立シタルトキハ第十四條ノ規定ニ依リ會員タル資格ヲ有スル者ハ總テ其ノ會員トス

第十九條 會則ニハ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一 目的及事業

二 名稱

三 地區

四 事務所ノ所在地

五 出資又ハ費用分擔ノ方法

六 其ノ他命令ヲ以テ定ムル事項

第二十條 地方農業會ニ總會ヲ置ク

會員ハ總會ニ於テ各一個ノ議決權ヲ有ス但シ會則ヲ以テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

第二十一條 左ノ事項ハ總會ノ議決ヲ經ベシ

一 會則ノ變更

二 賦課金ノ賦課徵收方法

三 事業報告書、財産目錄及貸借對照表ノ承認

四 剩餘金ノ處分又ハ損失ノ處理

五 其ノ他命令ヲ以テ定ムル事項

前項第一號及第二號ノ事項ノ議決ハ行政官廳ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

第二十二條 總會ハ會長之ヲ招集ス

第二十三條 總會ノ議長ハ會長ヲ以テ之ニ充ツ

第二十四條 總會ノ議事ハ命令ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外出席者ノ議決權ノ過半数ヲ以テ之ヲ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

第二十五條 總會ノ議決ヲ經ベキ事項ニシテ臨時急施ヲ要シ縣會ヲ招集スルノ暇ナシト認ムルモノハ會長之ヲ專決處分スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ會長ハ次ノ總會ニ於テハ其ノ承認ヲ求ムベシ

第二十六條 地方農業會ハ命令ノ定ムル所ニ依リ總會ニ代ルベキ總代會ヲ設クルコトヲ得

第七

報

第二十七條 地方農業會ニ左ノ役員ヲ置ク

會長 一人

副會長 一人若ハ若干人

理事 若干人

監事 若干人

道府縣農業會ニハ前項ノ役員ノ外會則ノ定ムル所ニ依リ評議員若干人ヲ置クコトヲ得

第二十八條 會長ハ地方農業會ヲ代表シ業務ヲ總理ス

副會長ハ會長ヲ輔佐シ會則ノ定ムル所ニ依ル業務ヲ掌理シ豫メ會長ノ定ムル順位ニ依リ會長事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理シ會長缺員ノトキハ其ノ職務ヲ行フ

理事ハ會長及副會長ノ指揮ヲ受ケ業務ヲ執行シ豫メ會長ノ定ムル順位ニ依リ會長及副會長共ニ事故アルトキハ會長ノ職務ヲ代理シ會長及副會長共ニ缺員ノトキハ會長ノ職務ヲ行フ

監事ハ業務ノ執行及財産ノ狀況ヲ監査ス
評議員ハ會長ノ諮問ニ對シ答申シ又ハ會長ニ對シ意見ヲ具申ス

第二十九條 會長ハ總會ニ於テ推薦シタル者ニ就キ市町村農業會ニ在リテハ市町村長(町村長ニ準ズベキモノヲ含ム)ノ意見ヲ徵シ地方長官、道府縣農業會ニ在リテハ地方長官ノ推薦ニ依リ主務大臣之ヲ命ズ

副會長及理事(支部長タル道府縣農業會ノ理事ヲ除ク)ハ總會ニ於テ推薦シタル者ニ就キ會長之ヲ選任ス
支部長タル道府縣農業會ノ理事ハ支務區域内ノ市町村農業會ノ會長ヲ以テ組織スル會議ニ於テ推薦シタル者ニ就キ會長之ヲ選任ス

監事ハ總會ニ於テ之ヲ選任ス

評議員ハ農業ニ關シ學識經驗アル者ノ申ヨリ會長之ヲ選任ス

道府縣農業會ノ副會長及理事ノ選任ハ地方長官ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

第三十條 地方農業會ノ役員ノ任期ハ左ノ通トス

會長 三年

副會長 三年

理事 三年

監事 二年

評議員 二年

會長必要アリト認ムルトキハ任期中ト雖モ副會長又ハ理事ヲ解任スルコトヲ得

第二項ノ規定ニ依ル副會長又ハ理事ノ解任ハ行政官應ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

第三十一條 地方農業會ハ會則ノ定ムル所ニ依リ其ノ會員ニ對シ經費ヲ賦課スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル經費賦課ハ第十一條第一項第一號、第二號及同條第二項第三號、第四號ノ事業並ニ此等ノ事業ニ關係アル範圍内ニ於ケル同項第五號ノ事業ニ關シ勅令ヲ以テ定ムル經費ニ限ル

第三十二條 地方農業會ハ前條第二項ノ事業ヲ行フ爲メ必要アルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ會員ノ全部又ハ一部ニ對シ同條ノ規定ニ依ル賦課金ノ外特別ノ賦課金ヲ課スルコトヲ得

第三十三條 地方農業會ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會則又ハ統制規程ニ違反シタル會員ニ對シ過怠金ヲ課スルコトヲ得

第三十四條 市町村農業會ノ賦課金又ハ過怠金ヲ滯納スル者アル場合ニ於テ當該市町村農業會ノ請求アルトキハ市町村ハ市町村稅ノ例ニ依リ之ヲ處分ス此ノ場合ニ於テ市町村農業會ハ其ノ徵收金額ノ百分ノ四ヲ市町村ニ交付スベシ

市町村ガ前項ノ請求ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ其ノ處分ニ着手セズ又ハ九十日以内ニ之ヲ結了セザルトキハ會長ハ地方長官ノ認可ヲ受ケ之ヲ處分スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ町村制第百十一條第一項及第四項ノ規定ヲ準用ス

前二項ノ規定ニ依ル徵收金ノ先取特權ノ順位ハ市町村其ノ他之ニ準ズベキモノノ徵收金ニ次ギ其ノ時効ニ付テハ市町村稅ノ例ニ依ル

市町村農業會ノ賦課金ノ賦課又ハ過怠金ノ徵收ニ關シテハ勅令ノ定ムル所ニ依リ異議ノ申立、訴願及行政訴訟ヲ爲スコトヲ得

第三十五條 地方農業會ハ會則ノ定ムル所ニ依リ第三十一條第二項ノ事業ニ關シ使用料及手数料ヲ徵收スルコトヲ得

前項ノ使用料及手数料ノ徵收ニ關シテハ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第三十六條 會員ハ出資一口以上ヲ有スベシ但シ第十四條第一項ノ規定ニ依ル會員ニシテ勅令ヲ以テ定ムルモノハ此ノ限ニ在ラズ

出資一口ノ金額ノ最高限ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第三十七條 地方農業會ノ會員ニシテ出資ヲ有スルモノノ責任ハ第三十一條及第三十二條ノ規定ニ依ル費用負擔ノ外其ノ出資額ヲ限度トス

第三十八條 道府縣農業會ハ會則ノ定ムル所ニ依リ郡

ノ區域（北海道ニ在リテハ北海道廳支廳長ノ管轄區域トス）若ハ之ニ準ズベキ區域又ハ主務大臣ノ指定スル市ノ區域ニ支部ヲ設置スルコトヲ得

支部長ハ理事ヲ以テ之ニ充ツ支部ノ事務ヲ掌理ス

第三十九條 地方農業會ハ命令ノ定ムル所ニ依リ總會ノ議決ヲ經テ農業ノ統制ニ關スル規程ヲ定メ行政官廳ノ認可ヲ受クベシ之ヲ變更シ又ハ廢止セントスルトキ亦同ジ

第四十條 行政官廳農業ノ整備發達ヲ圖ル爲必要アリト認ムルトキハ地方農業會ニ對シ必要ナル事業ノ施行ヲ命ジ又ハ會則ノ變更其ノ他必要ナル事項ヲ命ズルコトヲ得

第四十一條 行政官廳農業ノ整備發達ヲ圖ル爲必要アリト認ムルトキハ市町村農業會ノ會員ニ對シ當該農業會ノ行政官廳農業ノ整備發達ヲ圖ル爲特ニ必要アリト認ムルトキハ市町村農業會ノ會員以外ノ者ニシテ勅令ヲ以テ定ムルモノニ對シ當該農業會ノ行フ農業ニ關スル統制ニ從フベキコトヲ命ズルコトヲ得

第四十二條 行政官廳農業ノ整備發達ヲ圖ル爲必要アリト認ムルトキハ勅令ヲ以テ定ムル農業ニ關スル團體ニ對シ市町村農業會ノ事業ニ付協力スベキコトヲ命ズルコトヲ得

第四十三條 行政官廳ハ地方農業會ニ對シ業務及會計ニ關シ監督上必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第四十四條 行政官廳必要アリト認ムルトキハ當該官吏ヲシテ地方農業會ノ事務所、事業場其ノ他ノ場所ニ臨檢シ業務ノ狀況又ハ帳簿書類、設備其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムルコトヲ得

第四十五條 會長ノ職務ヲ行フ者ナキトキハ行政官廳ハ會員其ノ他適當ナル者ヲ指定シテ會長ノ職務ヲ行ハシムルコトヲ得

第四十六條 行政官廳ハ會長ノ行爲ガ法令、法令ニ基キテ爲ス處分若ハ會則ニ違反シ又ハ公益ヲ害シタルトキ其ノ他農業ノ整備發達上會長ヲ不適當ナリト認ムルトキハ之ヲ解任スルコトヲ得

行政官廳ハ副會長、理事、監事又ハ評議員ノ行爲ガ法令、法令ニ基キテ爲ス處分若ハ會則ニ違反シ又ハ公益ヲ害シタルトキハ之ヲ解任スルコトヲ得

第四十七條 行政官廳ハ地方農業會ノ決議又ハ會長、副會長、理事若ハ監事ノ行爲ガ法令、法令ニ基キテ爲ス處分若ハ會則ニ違反シ又ハ公益ヲ害シタルトキハ之ヲ解任スルコトヲ得

第四十八條 地方農業會ニハ所得稅、法人稅及營業稅ヲ課セズ

第三章 全國農業經濟會

第四十九條 全國農業經濟會ハ農業ニ關スル國策ニ即應シ會員ノ事業ニ必要ナル經濟事業ヲ行フコトヲ目的トス

第五十條 全國農業經濟會ハ其ノ目的ヲ達スル爲左ノ事業ヲ行フ

- 一 會員ノ販賣スル物ノ賣却又ハ其ノ加工ニ關スル施設
- 二 會員ニ必要ナル物ノ購買又ハ其ノ加工若ハ生産ニ關スル施設
- 三 會員ニ必要ナル設備ノ利用ニ關スル施設

四 前各號ノ事業ニ附帶スル事業

全國農業經濟會前項第四號ノ事業ヲ行ハントスルトキハ主務大臣ノ認可ヲ受クベシ

第五十一條 全國農業經濟會ノ地區ハ全國ノ區域ニ依ル

第五十二條 全國農業經濟會ノ名稱ニハ全國農業經濟會ナル文字ヲ用フベシ

全國農業經濟會ニ非ザルモノハ其ノ名稱中ニ前項ニ掲グル文字ヲ用フルコトヲ得ズ

第五十三條 全國農業經濟會ハ道府縣農業會ヲ以テ其ノ會員トス

市町村農業會ハ全國農業經濟會ノ會員ト爲ルコトヲ得

第五十四條 全國農業經濟會ニ左ノ役員ヲ置ク

- 理事長 一人
- 理事 三人以上
- 監事 二人以上

第五十五條 理事長ハ農業ニ關シ學識經驗アル者ノ中ヨリ主務大臣之ヲ命ズ

理事ハ總會ニ於テ推薦シタル者ニ就キ理事長之ヲ選任ス

監事ハ總會ニ於テ之ヲ選任ス

第二項ノ規定ニ依ル理事ノ選任ハ主務大臣ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

第五十六條 理事長及理事ハ他ノ職務又ハ商業ニ従事スルコトヲ得ズ但シ主務大臣ノ認可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第五十七條 第十八條乃至第二十六條、第二十八條第一項、第三項、第四項、第三十條、第三十三條、第

三十六條第二項本文、第二項、第三十七條、第四十條及第四十三條乃至第四十八條ノ規定ハ全國農業經濟會ニ付テ準用ス但シ第十八條中第十四條トアルハ第五十三條第一項トシ第二十二條、第二十三條、第二十五條、第二十八條第一項、第三十條、第四十五條、第四十六條及第四十七條中會長トアルハ理事長トシ第二十八條第三項中會長又ハ會長及副會長トアルハ理事長トス

第四章 中央農業會

第五十八條 中央農業會ハ農業ニ關スル國策ニ即應シ農業ノ整備發達ヲ圖ルコトヲ目的トス

第五十九條 中央農業會ハ其ノ目的ヲ達スル爲左ノ事業ヲ行フ

- 一 農業ノ指導獎勵其ノ他農業ノ發達ニ關スル施設
- 二 農業ノ統制ニ關スル施設
- 三 農業ニ關スル調査及研究
- 四 農業ニ從事スル者ノ福利増進ニ關スル施設
- 五 前各號ノ事業ニ附帶スル事業

中央農業會前項第四號及第五號ノ事業ヲ行ハントスルトキハ主務大臣ノ認可ヲ受クベシ

第六十條 中央農業會ノ名稱ニハ中央農業會ナル文字ヲ用フベシ

中央農業會ニ非ザルモノハ其ノ名稱中ニ前項ニ掲グル文字ヲ用フルコトヲ得ズ

第六十一條 中央農業會ハ道府縣農業會及全國農業經濟會ヲ以テ其ノ會員トス

第六十二條 左ノ事項ハ總會ニ諮リテ會長之ヲ決ス

- 一 會則ノ變更
- 二 賦課金ノ賦課徵收方法

三 收支豫算

前項第一號及第二號ノ事項ハ主務大臣ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

第六十三條 會長ハ毎年總會ニ中央農業會ノ事業ノ狀況ヲ報告シ理事ヲシテ財産ノ狀況ヲ報告セシムベシ

第六十四條 中央農業會ニ左ノ役員ヲ置ク

會長 一人

副會長 二人以内

理事 三人以上

監事 二人以上

評議員 若干人

第六十五條 會長及副會長ハ農業ニ關シ學識經驗アル者ノ中ヨリ主務大臣之ヲ命ズ

理事及評議員ハ農業ニ關シ學識經驗アル者ノ中ヨリ會長之ヲ選任ス

監事ハ總會ニ於テ之ヲ選任ス

第二項ノ規定ニ依ル理事ノ選任ハ主務大臣ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

第六十六條 第十八條、第十九條、第二十條第一項、第二項本文、第二十二條乃至第二十四條、第二十五條第一項、第二十八條、第三十條、第三十一條第一項、第三十二條、第三十三條、第三十五條、第三十九條、第四十條、第四十三條乃至第四十八條、第五十一條及第五十六條ノ規定ハ之ヲ中央農業會ニ付準用ス但シ第十八條中第十四條トアルハ第六十一條トシ第三十二條中前條第二項トアルハ第五十九條第一項トシ第三十五條中第三十一條第二項トアルハ第五十九條第一項トシ第三十九條中總會ノ議決ヲ經テトアルハ總會ニ諮リテトシ第四十六條中會長トアルハ

會長又ハ副會長トシ副會長、理事、監事又ハ評議員トアルハ理事、監事又ハ評議員トシ第五十六條中理事長トアルハ會長、副會長トス

第五章 罰則

第六十七條 地方農業會ノ會長、副會長、理事若ハ監事、全國農業經濟會ノ理事長、理事若ハ監事又ハ第四十五條(第五十七條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム)ノ規定ニ依ル地方農業會ノ會長若ハ全國農業經濟會ノ理事長ノ職務ヲ行フ者何等ノ名義ヲ以テスルヲ問ハズ當該團體ノ事業ノ範圍外ニ於テ貸付若ハ手形ノ割引ヲ爲シ又ハ投機取引ノ爲ニ當該團體ノ財産ヲ處分シタルトキハ二年以下ノ懲役又ハ三千圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ規定ハ刑法ニ正條アル場合ニハ之ヲ適用セズ

第六十八條 第四十一條ノ規定ニ依ル行政官廳ノ命令ニ違反シタル者ハ三千圓以下ノ罰金ニ處ス

第六十九條 法人又ハ人ノ代理人、戶主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業者ガ其ノ法人又ハ人ノ業務ニ關シ前條ノ違反行爲ヲ爲シタルトキハ其ノ法人又ハ人ハ自己ノ指揮ニ出デザルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免ルルコトヲ得ズ

前條ノ罰則ハ其ノ者ガ法人ナルトキハ理事、取締役其ノ他ノ法人ノ業務ヲ執行スル役員ニ、未成年者又ハ禁治產者ナルトキハ其ノ法定代理人ニ之ヲ適用ス但シ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第七十條 第四十四條(第五十七條及第六十六條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム)ノ規定ニ依ル當該官吏ノ検査ヲ拒ミ、妨ゲ又ハ忌避シタル者ハ千圓以下ノ罰金

ニ處ス

第七十一條 農業團體ノ會長、理事長、副會長、理事、監事、清算人若ハ使用人又ハ第四十五條(第五

十七條及第六十六條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム以下同ジ)ノ規定ニ依ル會長若ハ理事長ノ職務ヲ行フ者其ノ職務ニ關シ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ要求シ若ハ約束シタルトキハ二年以下ノ懲役ニ處ス因テ不正ノ行爲ヲ爲シ又ハ相當ノ行爲ヲ爲サザルトキハ五年以下ノ懲役ニ處ス

前項ノ場合ニ於テ收受シタル賄賂ハ之ヲ沒收ス若シ其ノ全部又ハ一部ヲ沒收スルコト能ハザルトキハ其ノ價額ヲ追徴ス

第七十二條 前條第一項ノ者ニ對シ賄賂ヲ交付シ又ハ之ヲ提供シ若ハ約束シタル者ハ二年以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ罪ヲ犯シタル者自首シタルトキハ其ノ刑ヲ減輕シ又ハ免除スルコトヲ得

第七十三條 農業團體本法若ハ本法ニ基キテ發スル命令又ハ之ニ基キテ爲ス處分ニ違反シタルトキハ會長、理事長、會長若ハ理事長ノ職務ヲ行ヒ若ハ代理スル副會長若ハ理事、清算人又ハ第四十五條ノ規定ニ依ル會長若ハ理事長ノ職務ヲ行フ者ヲ五千圓以下ノ過料ニ處ス

第七十四條 全國農業經濟會ノ理事長若ハ理事又ハ中央農業會ノ會長、副會長若ハ理事第五十六條(第六十六條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム)ノ規定ニ違反シ他ノ職務又ハ商業ニ従事シタルトキハ千圓以下ノ過料ニ處ス

第七十五條 第十三條第二項、第五十二條第二項又ハ

第六十條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ千圓以下ノ過料ニ處ス

附則

第七十六條 本法施行ノ期日ハ各規定ニ付勅令ヲ以テ之ヲ定ム但シ第九十九條ノ規定ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第七十七條 主務大臣ハ設立委員ヲ命ジ中央農業會ノ設立ニ關スル事務ヲ處理セシム

第七十八條 主務大臣前條ノ規定ニ依リ設立委員ヲ命ジタルトキハ帝國農會、產業組合中央會、全國養蠶業組合聯合會及勅令ヲ以テ定ムル法人ニ對シ其ノ解散ヲ命ズ

前項ノ法人ハ中央農業會成立ノ時解散スルモノトシ其ノ權利義務(其ノ法人ガ其ノ行フ事業ニ關シ行政官廳ノ許可、認可其ノ他ノ處分ニ基キ有スル權利義務ヲ含ム)ハ中央農業會之ヲ承繼ス此ノ場合ニ於テハ他ノ法令中解散及清算ニ關スル規定ハ之ヲ其ノ法人ニ適用セズ

第七十九條 設立委員ハ遲滞ナク前條第一項ノ法人ヲ組織スル者ニシテ勅令ヲ以テ定ムルモノノ總會ヲ召集シ之ニ諮リテ會則其ノ他設立ニ必要ナル事項ヲ定メ主務大臣ノ認可ヲ受クベシ

第八十條 中央農業會ハ主タル事務所ノ所在地ニ於テ設立ノ登記ヲ爲スニ因リテ成立ス

第八十一條 中央農業會成立シタルトキハ第七十九條ノ規定スル者ハ第六十一條ノ規定ニ拘ラズ總テ其ノ會員トス

第八十二條 主務大臣ハ設立委員ヲ命ジ全國農業經濟會ノ設立ニ關スル事務ヲ處理セシム

第八十三條 主務大臣前條ノ規定ニ依リ設立委員ヲ命ジタルトキハ保證責任全國購買販賣組合會ニ對シ其ノ解散ヲ命ズ

第八十四條 設立委員ハ遲滞ナク保證責任全國購買販賣組合會ヲ組織スル者ニシテ勅令ヲ以テ定ムルモノノ總會ヲ召集シ其ノ議決ヲ經テ會則、保證責任全國購買販賣組合會ノ出資ニ對スル全國農業經濟會ノ出資ノ引當其ノ他設立ニ必要ナル事項ヲ定メ主務大臣ノ認可ヲ受クベシ

第八十五條 全國農業經濟會成立シタルトキハ保證責任全國購買販賣組合會ヲ組織スル者ハ第五十三條ノ規定ニ拘ラズ勅令ノ定ムル所ニ依リ總テ其ノ會員トス

第八十六條 第七十八條第二項及第八十條ノ規定ハ全國農業經濟會ニ付之ヲ準用ス

第八十七條 行政官廳地方農業會ヲ設立スル爲必要アリト認ムルトキハ設立委員ヲ命ジ地方農業會ノ設立ニ關スル事務ヲ處理セシム

第八十八條 行政官廳前條ノ規定ニ依リ設立委員ヲ命ジタルトキハ道府縣農業會ヲ設立スル場合ニ在リテハ勅令ヲ以テ定ムルモノヲ除クノ外郡又ハ道府縣ノ區域ヲ地區又ハ區域トスル農會、茶業組合、茶業組合聯合會議所、畜産組合、畜産組合聯合會、產業組合聯合會、養蠶業組合、養蠶業組合聯合會其ノ他勅令ヲ以テ定ムル法人ニ對シ、市町村農業會ヲ設立スル場合ニ在リテハ勅令ヲ以テ定ムルモノヲ除クノ外市町村ノ區域ヲ地區又ハ區域トスル農會、產業組合其ノ他勅令ヲ以テ定ムル法人ニ對シ其ノ解散ヲ命ズ

第八十九條 設立委員ハ遲滞ナク道府縣農業會ヲ設立

スル場合ニ在リテハ前條前段ニ規定スル法人ヲ組織スル者ニシテ勅令ヲ以テ定ムルモノ、市町村農業會ヲ設立スル場合ニ在リテハ同條後段ニ規定スル法人ヲ組織スル者ニシテ勅令ヲ以テ定ムルモノノ總會ヲ

招集シ其ノ議決ヲ經テ會則、産業組合聯合會、産業組合其ノ他勅令ヲ以テ定ムル法人ノ出資ニ對スル道府縣農業會又ハ市町村農業會ノ出資ノ引當其ノ他設立ニ必要ナル事項ヲ定メ行政官廳ノ認可ヲ受クベシ

第九十條 地方農業會成立シタルトキハ道府縣農業會ニ在リテハ第八十八條前段ニ規定スル法人ヲ組織スル者ニシテ勅令ヲ以テ定ムルモノ、市町村農業會ニ在リテハ同條後段ニ規定スル法人ヲ組織スル者ニシテ勅令ヲ以テ定ムルモノハ第十四條又ハ第十五條ノ規定ニ拘ラズ勅令ノ定ムル所ニ依リ總テ其ノ會員トス

第九十一條 第七十八條第二項及第八十條ノ規定ハ地方農業會ニ付之ヲ準用ス

第九十二條 行政官廳地方農業會ヲ設立スル爲必要アリト認ムルトキハ農會、畜産組合、畜産組合聯合會其ノ他勅令ヲ以テ定ムル法人ニ對シ他ノ法令ノ規定ニ拘ラズ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ分割ヲ命ズルコトヲ得

第九十三條 第七十七條乃至前條ニ規定スルモノノ外農業團體ノ設立竝ニ第七十八條第一項、第八十三條及第八十八條ノ法人(以下受命法人ト稱ス)ノ解散ニ

關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第九十四條 第七十七條乃至前條ノ規定ニ依リ農業團體成立シタル場合ニ於テ其ノ農業團體ニ權利義務ヲ承繼セラレタル受命法人ヲ組織スル者ト當該農業團

體トノ間又ハ當該受命法人ノ所屬シタル法人ト當該農業團體トノ間ノ關係ニ付テハ本法及他ノ法令ニ拘ラズ勅令ヲ以テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

第九十五條 受命法人ノ行フ第十一條第二項第四號、第五號、第五十條第一項第四號又ハ第五十九條第一項第四號、第五號ニ掲グル事業ヲ第七十八條第二項(第八十六條又ハ第九十一條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム)ノ規定ニ依リ當該受命法人ノ權利義務ヲ承繼シタル農業團體ガ引續キ行フ場合ニ於テハ當該農業團體ハ當該事業ニ關シ第十一條第三項、第五十條第二項又ハ第五十九條第二項ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケタルモノト看做ス

第九十六條 第十三條、第五十二條又ハ第六十條ノ規定施行ノ際現ニ第十三條第一項、第五十二條第一項又ハ第六十條第一項ニ掲グル名稱ヲ其ノ名稱中ニ用フル者ハ此等ノ規定施行後六月以内ニ其ノ名稱ヲ變更スルコトヲ要ス

第七十五條ノ規定ハ前項ノ期間内之ヲ同項ノ者ニ適用セズ

第九十七條 農業團體第七十八條第二項(第八十六條又ハ第九十一條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム)ノ規定ニ依リ受命法人ヨリ不動産又ハ船舶ニ關スル權利ヲ承繼スル場合ニ於ケル其ノ取得ニ付登記ヲ受クルトキハ其ノ登録稅ノ額ハ不動産又ハ船舶ノ價格ノ千分

ノ三トス但シ登録稅法ニ依リ算出シタル登録稅ノ額ガ本法ニ依リ算出シタル稅額ヨリ少キトキハ其ノ額ニ依ル

第九十八條 全國農業經濟會又ハ地方農業會ガ第八十

六條又ハ第九十一條ニ於テ準用スル第七十八條第二項ノ規定ニ依リ産業組合聯合會又ハ産業組合ノ權利義務ヲ承繼スル場合ニ於テハ特別法人稅法ノ適用ニ關シテハ産業組合聯合會又ハ産業組合ハ之ヲ合併ニ因リテ消滅シタル特別ノ法人ト看做シ全國農業經濟會又ハ地方農業會ハ之ヲ合併ニ因リテ設立シタル特別ノ法人ト看做ス

全國農業經濟會又ハ地方農業會ガ第八十六條又ハ第九十一條ニ於テ準用スル第七十八條第二項ノ規定ニ依リ受命法人ヨリ承繼シタル財產ニ付テハ特別法人稅法ニ依ル剩餘金ノ計算上之ヲ益金ニ算入セズ

第九十九條 農會、畜産業組合、道府縣畜産業組合會及全國畜産業組合聯合會ノ役員、總代、議員、特別議員又ハ豫備議員ハ勅令ヲ以テ定ムル場合ヲ除クノ外其ノ任期滿了シタルトキト雖モ第七十八條第二項(第八十六條又ハ第九十一條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム)ノ規定ニ依リ當該法人ノ解散ニ至ル迄仍在任ス

第一百條 左ニ掲グル法令ハ之ヲ廢止ス

一 農會法

二 茶業組合規則

前項ノ法令廢止前當該法令ノ罰則ヲ適用スベカリシ行爲ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

第一項ノ法令ノ廢止ニ關シ必要ナル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第一百一條 印紙稅法中左ノ通改正ス

第四條第一項第十一號中「産業組合」ノ上ニ「市町村農業會、道府縣農業會」ヲ、同項第十二號中「産業組合聯合會」ノ上ニ「道府縣農業會、全國農業經濟

會」ヲ加フ

第五條第六號中「産業組合」ノ上ニ「市町村農業會、」

ヲ、同條第九號中「産業組合」ノ上ニ「市町村農業會、
道府縣農業會」ヲ加フ

第二百二條 日本勸業銀行法中左ノ通改正ス

「産業債券」ヲ「農林債券」ニ、「産業組合中央金庫」ヲ
「農林中央金庫」ニ改ム

第二百三條 牧野法中左ノ通改正ス

「畜産組合」ヲ「馬匹組合」ニ、「畜産組合聯合會」ヲ
「馬匹組合聯合會」ニ改ム

第二百四條 登録税法中左ノ通改正ス

第六條第一項第十一號中「産業債券」ヲ「農林債券」ニ
改ム第十九條第七號中「産業組合」ノ上ニ「農業團
體」ヲ「産業組合」ノ上ニ「農業團體法」ヲ加ヘ「産
業組合中央會」ヲ削ル

同條第十五號及第十六號中「産業組合中央金庫」ヲ

「市町村農業會、農林中央金庫」ニ改ム

第二百五條 特別法人税法中左ノ通改正ス

第二條中第一號ヲ第一號ノ二、第一號ノ二ヲ第一號
ノ二ノ二トシ第一號トシテ左ノ如ク加フ

一 市町村農業會、道府縣農業會及全國農業經濟

會同條第八號ヲ左ノ如ク改ム

八 農林中央金庫

第六百六條 貯蓄銀行法中左ノ通改正ス

第五條第四號及第五號中「公共團體」ノ下ニ、「市町村
農業會」ヲ加フ

第六百七條 畜産組合法中左ノ通改正ス

「畜産組合法」ヲ「馬匹組合法」ニ改ム
「畜産組合」ヲ「馬匹組合」ニ、「畜産組合聯合會」ヲ「馬

匹組合聯合會」ニ改ム

第一條 削除

第二條中「家畜」ヲ「馬」ニ改ム

第三條及第四條中「畜産上」ノ「馬産上」ニ改ム

第五條中「家畜」ヲ「馬」ニ、「家畜衛生」ヲ「馬ノ衛生」
ニ改ム

第六條第二項中「家畜又ハ」ヲ削ル

第九條中「種畜」ヲ「種馬」ニ、「家畜ノ系統」ヲ「馬ノ
系統」ニ、「家畜衛生」ヲ「馬ノ衛生」ニ改ム

第十條第二項中「家畜又ハ」ヲ、同條第三項中「家畜若
ハ」ヲ削ル

第十一條第一項中「家畜、畜産物又ハ畜産上ノ設備」
ヲ「馬又ハ馬産上ノ設備」ニ改ム

第二十八條中「畜産上」ノ「馬産上」ニ改ム

第三十一條第一項中「第二項ノ場合ヲ除クノ外」ヲ削
ル

同條第二項及第三項ヲ削ル

第三十六條及第三十九條第一項第二號中「家畜若ハ」
ヲ削ル

第四十四條第二項ヲ削ル

第六百八條 臨時農村負債處理法中左ノ通改正ス

「産業組合中央金庫」ヲ「農林中央金庫」ニ改ム

第十一條第二項中「所屬信用組合」ノ上ニ「所屬市町
村農業會若ハ」ヲ、「組合員」ノ上ニ「會員若ハ」ヲ、信
用組合」ノ上ニ「市町村農業會又ハ」ヲ加フ

第十三條中「産業組合中央金庫特別融通及損失補償
法」ヲ「農林中央金庫特別融通及損失補償法」ニ改ム

第六百九條 臨時資金調整法中左ノ通改正ス

第二條中「産業組合中央金庫」ヲ「農林中央金庫」ニ改

メ「戰時金融金庫」ノ下ニ「道府縣農業會」ヲ加フ

第六百十條 家畜市場法中左ノ通改正ス

第三條第二項中「産牛馬組合法」ニ依リ設置シタル組
合」ヲ「馬匹組合、馬匹組合聯合會、市町村農業會若ハ
道府縣農業會」ニ改ム

第四條中「産牛馬組合法」ニ依リ設置シタル組合」ヲ
「馬匹組合、馬匹組合聯合會、市町村農業會又ハ道
府縣農業會」ニ改ム

第六百十一條 農村負債整理組合法中左ノ通改正ス

第八條第一項中「信用組合」ノ上ニ「市町村農業會」
ヲ加フ

第二十四條第一項中「第六百七十五條乃至第六百七十
七條及第六百六條乃至第六百八條」ヲ「第六百七十五條
乃至第六百七十七條」ニ改ム

第六百十二條 農村負債整理資金特別融通及損失補償法

中左ノ通改正ス

「産業組合中央金庫」ヲ「農林中央金庫」ニ、「産業組合
中央金庫特別融通及損失補償法」ヲ「農林中央金庫特
別融通及損失補償法」ニ改ム

第一條第一項中「負債整理組合又ハ農村負債整理組
合法第八條ノ規定ニ依リ負債整理事業ヲ行フ法人」

ヲ「負債整理組合、農村負債整理組合法第八條ノ規
定ニ依リ負債整理事業ヲ行フ法人又ハ命令ノ定ムル
所ニ依リ負債ノ整理ヲ爲ス者」ニ改ム

同條第二項中「所屬信用組合」ノ上ニ「所屬市町村農
業會若ハ」ヲ、「信用組合」ノ上ニ「市町村農業會又ハ」
ヲ加ヘ「其ノ組合員タル負債整理組合若ハ農村負債
整理組合法第八條ノ規定ニ依リ負債整理事業ヲ行フ
法人」ヲ「其ノ會員若ハ組合員タル負債整理組合、農

村負債整理組合法第八條ノ規定ニ依リ負債整理事業ヲ行フ法人若ハ命令ノ定ムル所ニ依リ負債ノ整理ヲ爲ス者ニ改ム

第百十三條 農業保險法中左ノ通改正ス

「市農會又ハ町村農會」ヲ「市町村農會」ニ改ム

第百十四條 農業動産信用法中左ノ通改正ス

「信用組合」ノ上ニ「市町村農會」ヲ加フ

第百十五條 農業倉庫業法中左ノ通改正ス

第一條第一項第二號中「販賣組合」ノ上ニ「市町村農會、道府縣農會」ヲ加フ

第四條第一項中「產業組合、農會」ヲ「市町村農會、產業組合」ニ改ム

同條第二項中「產業組合聯合會」ノ上ニ「道府縣農會又ハ」ヲ加フ

第五條第一項中「產業組合又ハ」ヲ「市町村農會若ハ道府縣農會又ハ產業組合若ハ」ニ改メ「產業組合」ノ上ニ「農業團體法又ハ」ヲ加フ

同條第二項中「前項ノ產業組合又ハ」ヲ「前項ノ市町村農會若ハ道府縣農會又ハ產業組合若ハ」ニ改ム

同條第三項中「農會又ハ」ヲ削ル

第十八條第三項ヲ削ル

第十九條第二項及第三項中「販賣組合」ノ上ニ「市町村農會、道府縣農會、全國農業經濟會」ヲ加フ

第二十條中「產業組合聯合會」ノ上ニ「道府縣農會、全國農業經濟會又ハ」ヲ加フ

第二十一條第一項中「產業組合聯合會」ノ上ニ「道府縣農會、全國農業經濟會又ハ」ヲ加フ

上ニ「農業團體法又ハ」ヲ加フ

同條第二項中「產業組合聯合會ハ所屬組合又ハ所屬聯合會ノ爲ニ前項ノ事業ヲ爲スノ外附隨トシテ」ヲ「道府縣農會若ハ全國農業經濟會又ハ產業組合聯合會ハ所屬會員又ハ所屬組合若ハ所屬聯合會ノ爲ニ前項ノ事業ヲ爲スノ外附隨トシテ所屬會員ニ非ザル市町村農會、道府縣農會、全國農業經濟會」ニ改ム

第百十六條 軍馬資源保護法中左ノ通改正ス

第八條第一項中「畜産組合聯合會、畜産組合」ヲ「馬匹組合聯合會、馬匹組合」ニ、同條第二項中「命令ヲ以テ定ムル畜産組合聯合會又ハ道府縣ノ區域ニ依ル畜産組合」ヲ「馬匹組合聯合會又ハ道府縣ノ區域ニ依ル馬匹組合」ニ改ム

第十一條第二項及第三項ヲ削ル

第十二條乃至第十五條 削除

第十七條中「又ハ軍用保護馬鍛鍊中央會」ヲ削ル

第三十一條中「軍用保護馬鍛鍊中央會ノ役員又ハ」ヲ削ル

第三十七條第二項及第三項ヲ削ル

附則第二項ヲ削ル

第百十七條 國民貯蓄組合法中左ノ通改正ス

第一條第三號及第二條第一項第四號中「產業組合」ノ上ニ「市町村農會」ヲ加フ

第四條第一項中「產業組合貯金」ノ上ニ「市町村農會貯金」ヲ加フ

第百十八條 產業組合法中左ノ通改正ス

第九章 產業組合聯合會及產業組合中央會ヲ「第九章 產業組合聯合會」ニ改ム

第七十六條第二項本文中「產業組合」ノ上ニ「市町村農會、道府縣農會」ヲ加フ

第七十六條ノ二中「產業組合中央金庫」ヲ「農林中央金庫」ニ改ム

第八十二條乃至第九十二條 削除

第九十三條ノ三中「又ハ第八十三條第二項」ヲ削ル

第九十四條 削除

第九十六條中「及產業組合中央會」ヲ削ル

第九十七條中「產業組合聯合會登記簿及產業組合中央會登記簿」ヲ「及產業組合聯合會登記簿」ニ改ム

第九十八條第二項第一號中「產業組合聯合會又ハ產業組合中央會」ヲ「又ハ產業組合聯合會」ニ改ム

第百五條中「產業組合聯合會及產業組合中央會」ヲ「及產業組合聯合會」ニ改ム

第百十九條 產業組合中央金庫法中左ノ通改正ス

「產業組合中央金庫法」ヲ「農林中央金庫法」ニ改ム

「產業組合中央金庫」ヲ「農林中央金庫」ニ、「產業組合中央金庫監理官」ヲ「農林中央金庫監理官」ニ、「產業債券」ヲ「農林債券」ニ改ム

第二條第三項中「產業組合聯合會」ノ上ニ「道府縣農會」ヲ加フ

第五條第一項中「政府」ノ下ニ「全國農業經濟會、道府縣農會、市町村農會、出資ヲ爲サシムル森林組合聯合會若ハ森林組合」ヲ加フ

第十二條第一項中「三十名以内」ヲ「三十五名以内」ニ改メ「產業組合關係者」ノ上ニ「農業團體關係者、森林組合關係者」ヲ加フ

第十三條第一號中「所屬產業組合聯合會」ノ上ニ「所屬全國農業經濟會、所屬道府縣農會、所屬市町村農會、所屬森林組合聯合會、所屬森林組合」ヲ加フ

同條第二號中「所屬產業組合聯合會」ノ上ニ「所屬全
國農業經濟會、所屬道府縣農業會、所屬市町村農業
會、所屬森林組合聯合會、所屬森林組合」ヲ、「三十
箇年以内」ノ下ニ「所屬森林組合聯合會又ハ所屬森
林組合ニ對シ貸付ヲ爲ス場合ニ於テハ、五十箇年以
内」ヲ加フ

同條第三號、第四號、第六號及第七號中「所屬產業組
合聯合會」ノ上ニ「所屬全國農業經濟會、所屬道府縣
農業會、所屬市町村農業會、所屬森林組合聯合會、
所屬森林組合」ヲ加フ

同條第五號中「產業組合聯合會」ノ上ニ「全國農業經
濟會、道府縣農業會、市町村農業會、森林組合聯合
會、森林組合」ヲ加フ

第十四條ニ左ノ一項ヲ加フ
農林中央金庫ハ所屬森林組合聯合會又ハ所屬森林
組合ニ對シ貸付ヲ爲ス場合ニ於テハ擔保ヲ徵シテ
二十ヶ年以内ノ定期償還貸付ヲ爲スコトヲ得

第十五條第一項第二號中「主務大臣ノ認可ヲ受ケタ
ル」ヲ削リ同項第三號及第四號中「產業組合聯合會」
ノ上ニ「全國農業經濟會、道府縣農業會、市町村農
業會、森林組合聯合會、森林組合」ヲ加フ

第三十條 削除
第三十五條 削除
第二百十條 產業組合中央金庫特別融通及損失補償法
中左ノ通改正ス

「產業組合中央金庫特別融通及損失補償法」ヲ「農林
中央金庫特別融通及損失補償法」ニ改ム
「產業組合中央金庫」ヲ「農林中央金庫」ニ、「產業組合
中央金庫法」ヲ「農林中央金庫法」ニ、「產業債券」ヲ

「農林債券」ニ改ム
第一條中「所屬信用組合聯合會」ノ上ニ「所屬道府縣
農業會、所屬市町村農業會」ヲ加フ

第二百二十一條 產業組合自治監査法中左ノ通改正ス
「產業組合自治監査法」ヲ「農業團體自治監査法」ニ改
ム

「產業組合監査聯合會」ヲ「農業團體監査聯合會」ニ、
「產業組合監査員」ヲ「農業團體監査員」ニ、「產業組
合」ヲ「農業團體」ニ、「當該產業組合」ヲ「當該農業團
體」ニ改ム

第一條第二項中「產業組合聯合會」ノ上ニ「產業組合
及」ヲ加フ
第八條中「產業組合中央會及產業組合中央金庫」ヲ
「農林中央金庫」ニ改ム

第九條第四項ヲ削ル
第二百二十二條 蠶絲業組合法中左ノ通改正ス
第一條中「六種」ヲ「五種」ニ、同條第一號ヲ左ノ如ク
改ム

一 削除
第七條第一項中「養蠶業組合」ヲ削ル
「第二節 養蠶業組合」ヲ「第二節 養蠶實行組合」ニ
改ム

第十六條乃至第十八條 削除
第二十七條乃至第四十條 削除
第四十一條第二項ヲ削ル
第四十三條第二項ヲ左ノ如ク改ム

前項ノ區域ニ増減アリタルトキハ其ノ區域ヲ地區
トスル蠶種業組合ノ地區モ亦之ニ應ジテ増減アリ
タルモノトス

第四十四條ノ二ヲ第四十四條ノ七トシ第四十四條ノ
三ヲ第四十四條ノ十三トス
第四十四條ノ二 蠶種業組合ヲ設立セントスルトキ
ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ地區内ノ前條ニ掲グ
ル者ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得テ創立總會ヲ開キ

定款ヲ議定シ役員ヲ選任シ收支豫算及經費ノ分賦
收入方法ヲ議決シ行政官廳ノ認可ヲ受クベシ
前項ノ創立總會ノ決議ニ關シ必要ナル事項ハ命令
ヲ以テ之ヲ定ム

第四十四條ノ三 蠶種業組合ハ設立ノ認可ヲ受ケタ
ル時成立ス
第四十四條ノ四 蠶種業組合成立シタルトキハ其ノ
地區内ノ組合員タル資格ヲ有スル者ハ總テ其ノ組
合員トス

第四十四條ノ五 蠶種業組合ノ地區内ニ於テ蠶種製
造業ニ關スル事業ヲ行フ法人ニシテ命令ヲ以テ規
定スルモノハ蠶種業組合ノ組合員ト爲ルコトヲ得

第四十四條ノ六 主務大臣必要アリト認ムルトキハ
區域ヲ指定シ組合員タル資格ヲ有スル者ニ對シ蠶
種業組合ノ設立ヲ命ズルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル設立ニ關シ必要ナル事項ハ命令
ヲ以テ之ヲ定ム
第四十四條ノ八 左ニ掲グル事項ハ總會ノ議決ヲ經
ベシ

一 收支豫算
二 經費ノ分賦收入方法
三 命令ヲ以テ規定スル統制ニ關スル施設
四 事業報告及收支決算
五 借入金

六 基本財産ノ造成、管理及處分

七 定款ノ變更

八 役員ノ選任及解任

九 第六十五條ノ議員ノ選任及解任

十 第六十三條第一項ノ同意

前項第一號乃至第三號、第五號、第七號及第八號ニ掲グル事項ノ決議ハ行政官廳ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

第四十四條ノ九 總會ハ組合長之ヲ招集ス

組合員ハ總會ノ三分ノ一以上ノ同意ヲ得テ會議ノ目的タル事項及招集ノ事由ヲ記載シタル書面ヲ提出シ總會ノ招集ヲ請求スルコトヲ得

組合長正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル請求アリタル後二週間以内ニ總會ヲ招集セザルトキハ請求者ハ行政官廳ノ認可ヲ受ケ之ヲ招集スルコトヲ得

前三項ノ規定ニ依リ總會ヲ招集スルコト能ハザルトキハ行政官廳ハ組合員ヲ指定シテ總會ヲ招集セシムルコトヲ得

第四十四條ノ十 總會ノ議事ハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外出席者ノ過半数ヲ以テ之ヲ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

第四十四條ノ十一 第四十四條ノ八第一項第三號、第七號及第八號ニ掲グル事項ハ總會ニ於テ組合員ノ半数以上出席シ出席者ノ三分ノ二以上ヲ以テ之ヲ議決ス

定款ノ變更ガ地區ノ増減ニ關スルトキハ前項ノ規定ニ依ル議決ノ外新ニ編入セラレ又ハ削除セラルベキ區域内ノ組合員タル資格ヲ有スル者又ハ組合

員ノ第四十四條ノ二第一項ノ規定ニ準ズル同意アルコトヲ要ス

第四十四條ノ十二 總會ノ議決ヲ經ベキ事項ニシテ

輕微ナルモノニ付テハ定款ノ定ムル所ニ依リ書面ヲ以テ組合員ノ意見ヲ徵シ總會ノ議決ニ代フルコトヲ得

第四十四條ノ十四 蠶種業組合ニ組合長一人ヲ置ク蠶種業組合ハ前項ノ役員ノ外定款ノ定ムル所ニ依リ他ノ役員ヲ置クコトヲ得

前二項ノ役員ハ組合員中ヨリ之ヲ選任ス但シ特別ノ事由アルトキハ其ノ他ノ者ヨリ之ヲ選任スルトコトヲ得

第四十四條ノ十五 組合長ハ蠶種業組合ヲ代表シ組合ノ事務ヲ總理ス

第四十五條 總會ノ議決ヲ經ベキ事項ニシテ臨時急施ヲ要シ總會ヲ招集スルノ暇ナシト認ムルモノハ組合長定款ノ定ムル所ニ依リ之ヲ專決處分スルトコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ組合長ハ次ノ總會ニ於テ其ノ承認ヲ求ムベシ

第四十八條第二項中「第十七條第二項」ヲ「第四十三條第二項」ニ改ム

第四十九條中「産業組合」ノ上ニ「市町村農業會、道府縣農業會」ヲ加フ

第五十一條 第四十四條ノ二乃至第四十四條ノ四、第四十四條ノ六乃至第四十四條ノ十二及第四十四條ノ十四乃至第四十五條ノ規定ハ産業組合製絲組合及製絲業組合ニ之ヲ準用ス

第四十四條ノ五及第四十四條ノ十三ノ規定ハ製絲

業組合ニ之ヲ準用ス

第五十三條第二項中「第十七條第二項」ヲ「第四十三條第二項」ニ改ム

第五十六條 第四十四條ノ二乃至第四十四條ノ四、第四十四條ノ六乃至第四十四條ノ十二及第四十四條ノ十四乃至第四十五條ノ規定ハ生絲間屋業組合及生絲輸出業組合ニ之ヲ準用ス但シ第四十四條ノ八第一項中第六十五條トアルハ之ヲ第六十五條又ハ第七十六條トシ第六十三條第一項トアルハ之ヲ第六十三條第一項又ハ第七十五條第一項トス

第五十七條中「七種」ヲ「五種」ニ改メ同條第一號及第二號ヲ左ノ如ク改ム

一 削除

二 削除

第五十八條中「又ハ道府縣養蠶業組合聯合會」ヲ削ル

第六十條 蠶絲業組合聯合會ノ地區ハ全國ノ區域ニ依ル

第六十一條第一項中「道、府若ハ縣養蠶業組合聯合會、全國養蠶業組合聯合會」ヲ削ル

第六十二條 全國蠶種業組合聯合會ハ蠶種業組合及蠶種ノ製造ヲ業トスル者ニシテ命令ヲ以テ規定スルモノヲ以テ、全國産業組合製絲組合聯合會ハ産業組合製絲組合及製絲ヲ爲シ又ハ製絲工場ヲ有スル市町村農業會、道府縣農業會、産業組合又ハ産業組合聯合會ニシテ命令ヲ以テ規定スルモノヲ以テ、全國製絲業組合聯合會ハ製絲業組合及生絲ノ製造ヲ業トスル者ニシテ命令ヲ以テ規定スルモノヲ以テ、全國生絲間屋業組合聯合會ハ生絲間屋業組合ヲ以テ、全國生絲輸出業組合聯合會ハ生絲

輸出業組合ヲ以テ其ノ會員トス

第六十三條第二項中「第三十六條第一項」ヲ「第四十

四條ノ十一第一項」ニ改ム

第六十八條 第四條乃至第六條、第九條第一項、第

十條、第十二條乃至第十四條、第四十四條ノ三、

第四十四條ノ六、第四十四條ノ八乃至第四十四條

ノ十、第四十四條ノ十一第一項、第四十四條ノ十

一及第四十五條ノ規定ハ蠶絲業組合聯合會ニ之ヲ

準用ス但シ第四十四條ノ八第一項中第六十五條ト

アルハ之ヲ第七十六條トシ第六十三條第一項トア

ルハ之ヲ第七十五條第一項トス

第七十四條第一項中「第五十七條第二號乃至第七號

ノ」ヲ削リ同條ニ左ノ一項ヲ加フ

前二項ニ掲グル者ノ外蠶絲業ニ關係アル法人ハ其

ノ會員ト爲ルコトヲ得

第七十五條第二項及第七十八條第三項中「第三十六

條第一項」ヲ「第四十四條ノ十一第一項」ニ改ム

第七十九條、第四條乃至第六條、第九條第一項、第

十二條乃至第十四條、第四十四條ノ三、第四十四

條ノ八乃至第四十四條ノ十、第四十四條ノ十一第

一項、第四十四條ノ十二、第四十五條、第六十四

條及第六十七條ノ規定ハ日本中央蠶絲會ニ之ヲ準

用ス

第二百二十三條 蠶業法中左ノ通改正ス

第四十四條ノ二中「産業組合中央金庫」ヲ「農林中央

金庫」ニ改ム

第二百二十四條 郵便貯金法中左ノ通改正ス

第四條第三號中「産業組合又ハ産業組合中央金庫」ヲ

「市町村農業會、道府縣農業會、全國農業經濟會、

道府縣農業會」ヲ加フ

産業組合、産業組合聯合會又ハ農林中央金庫」ニ改

ム

第二百二十五條 所得稅法中左ノ通改正ス

第十一條第一項第五號中「産業組合貯金」ノ上ニ「市

町村農業會貯金」ヲ加フ

第二十一條第三項中「産業組合貯金」ノ上ニ「市町村

農業會貯金」ヲ、「産業組合」ノ上ニ「市町村農業會

ヲ加フ

第二百二十六條 種馬統制法中左ノ通改正ス

第二條第二項中「畜産組合、畜産組合聯合會」ヲ「馬

匹組合、馬匹組合聯合會」ニ改ム

第十條及附則第八項中「畜産組合又ハ畜産組合聯合

會」ヲ「馬匹組合又ハ馬匹組合聯合會」ニ改ム

第二百二十七條 森林法中左ノ通改正ス

第七十四條ノ六、第七十四條ノ三第一項ノ規定ニ依

リ出資ヲ爲サシムル森林組合聯合會ハ日本勸業銀

行、日本興業銀行、北海道拓殖銀行、農工銀行又

ハ農林中央金庫ニ對シ所屬組合又ハ所屬聯合會ノ

爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ債務ノ保證ヲ爲シタルトキハ同

項ノ森林組合聯合會ハ銀行又ハ農林中央金庫ノ委

任ヲ受ケ其ノ債權ノ取立ヲ爲スコトヲ得

第二百二十八條 信託業法中左ノ通改正ス

第十一條 第一項第六號中「公共團體」ノ下ニ「市

町村農業會」ヲ加フ

第二十三條 削除

第二百二十九條 製絲業法中左ノ通改正ス

第一條第二項中「産業組合」ノ上ニ「市町村農業會、

道府縣農業會」ヲ加フ

第三百十條 昭和十五年法律第九十二號中左ノ通改正

ス

第二條中「畜産組合、畜産組合聯合會」ヲ「馬匹組合、

馬匹組合聯合會、市町村農業會、道府縣農業會」ニ

改ム

第三百十一條 第七條、第六十六條、第一百八條又

ハ第一百九條ノ規定施行前此等ノ規定ニ依リ改正ニ

係ル畜産組合法、軍馬資源保護法、産業組合法又ハ

産業組合中央金庫法ノ罰則ヲ適用スベカリシ行爲ニ

付テハ仍從前ノ例ニ依ル

第三百七條、第一百八條又ハ第二百二十二條ノ規定ノ施

行ニ關シ必要ナル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第三百十二條 本法ニ規定スルモノノ外本法ノ施行ニ

關シ必要ナル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

〔參照〕

昭和十五年四月四日法律第九十二號ハ獸醫師法等ノ

臨時特例ニ關スル件ナリ

厚生省人口局の健民特別指導地區設

定に關する要綱その他の決定

厚生省人口局に於いては全國的健民對策の急速實施

の爲の第一着手として「健民特別指導地區」を設定し、

その特別指導により所期の効果を擧ぐると共に之を今

後の全國的健民對策の基礎たらしむることとなつた

が、その健民特別指導地區設定要綱その他に關する

地方長官宛通牒等を掲ぐれば以下の如くである。

健民特別指導地區設定ニ關スル件

(昭和十七年九月十二日)

(地方長官宛厚生次官通牒)